

## (1) 天守閣エリア等の早期公開と主要構成建造物の復旧

### ①公開エリアの年次状況／④復旧と公開の状況（2018年度～2019年度）

| 計画記載内容   | 実施状況   |
|--|--|
| <p>&lt;2018 (H30)年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天守閣の工事の様子や、宇土櫓、戌亥櫓、西大手門、馬具櫓の被災状況を観覧</li> <li>・長堀の復旧工事に着手。工事の様子を長堀通りから観覧</li> <li>・二の丸御門を三の丸方面への通行路として開放</li> </ul> | <p>→2018年度内に実施</p> <p>→2018年度内に実施</p> <p>→2018年度内に実施</p>                 |
| <p>&lt;2019 (H31・R1)年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大天守の外観復旧。日曜・祝日限定で天守前広場等から観覧可能に</li> <li>・西大手門安全対策による西出丸の一部の開放</li> <li>・長堀の復旧。長堀通りから完成した姿を観覧</li> </ul>         | <p>→2019年10月5日から特別公開第1弾として実施</p> <p>→特別公開第1弾として実施</p> <p>→2020年度に完成。</p> |



二の丸～三の丸の通路の仮開放



西大手門石材回収・安全対策

## (1) 天守閣エリア等の早期公開と主要構成建造物の復旧

### ①公開エリアの年次状況／④復旧と公開の状況（2020年度～2021年度）

| 計画記載内容   | 実施状況                          |
|--|-------------------------------|
| <p>&lt;2020 (R2)年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学通路の設置。平日も被災状況や復旧工事を観覧可能に</li> </ul> | →2020年6月1日から<br>特別公開第2弾として実施  |
| <p>&lt;2021 (R3)年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天守閣の復旧。天守閣内部の観覧が可能に</li> </ul>        | →2021年6月28日から<br>特別公開第3弾として実施 |



特別見学通路の完成

### ②見学通路（仮設）の整備

| 計画記載内容  | 実施状況                                      |
|---|---|
| <p>「熊本城本丸地区を中心に錯綜する多種多様な復旧工事を計画的・効率的に実施しながら、熊本城の復旧そのもののスピードを緩めることなく、市民・県民をはじめ国内外の多くの方々が熊本城の被害状況や復旧過程を復旧完了までの間、安全に観覧できる見学通路（仮設）の整備・設置に取り組んでいきます」</p> | →2019年度に完成<br>2020年6月1日から<br>特別公開第2弾として実施 |



天守閣の復旧

★特別見学通路は、「文化財が復旧していく貴重な姿を見ていただくことが、文化財の価値を高めることに繋がる」という主旨で、復旧完了までの期間の仮設物として特別史跡内への設置が認められた（前例なし）

## (1) 天守閣エリア等の早期公開と主要構成建造物の復旧

### ③公開エリアと観覧ポイントの拡充

| 計画記載内容  | 実施状況   |
|---|--|
| 「少しでも間近で被災状況や復旧過程がご覧いただけるよう安全が確認できた区域から立入規制の解除を行っていきます」 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二の丸駐車場・西大手門区域、戌亥櫓下空堀の一部の立入規制解除 (2017)</li> <li>・二の丸御門の仮開通 (三の丸から二の丸の動線復旧) (2018)</li> <li>・旧細川刑部邸庭園の限定公開とライトアップ(2018～)</li> <li>・西大手門安全対策による西出丸の一部開放 (2019)</li> <li>・奉行丸南側の開放 (2019)</li> <li>・桜の開花時期の行幸坂一般開放 (2020～)</li> <li>・飯田丸五階櫓展望広場 (行幸坂下) の開放 (2021)</li> <li>・行幸坂歩道の拡幅 (2021)</li> </ul> |



旧細川刑部邸庭園のライトアップ



飯田丸五階櫓展望広場

- ・観覧ルートの設定は、被災により危険な状態にある石垣等を安全かつ快適に観覧できる対応策の検討が重要
- ・観覧ルートと工事車両ルートの錯綜を回避し、復旧事業への影響を最小限にしていける必要がある
- ・復旧の進捗状況にあわせて公開エリアと観覧ポイントを柔軟に見直していかなければならない

➡長期にわたって公開エリアが広がらない中で、復旧状況を見せるための手法の検討が必要

(2) 復旧過程の文化・観光資源としての活用

① 復旧過程を見る、学ぶ、楽しむ

| 計画記載内容  | 実施状況  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復興見学ルート</li> </ul>     | <p>→2017年度に案内板設置・以降更新中</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復旧工事の「見える化」</li> </ul> | <p>→天守閣、長堀、監物櫓、戌亥櫓、馬具櫓復旧工事に透過性シートを採用。城内にライブカメラを設置<br/> <b>→新たな「見える化」の手法がないか検討が必要</b></p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わくわく座の展示拡充</li> </ul>  | <p>→江戸時代から熊本地震被災前の熊本城の姿を再現した「熊本城VR」や、熊本地震による石垣や瓦の崩壊、櫓の倒壊を映像と音で詳細に再現した「熊本城被災・復旧プロジェクションマッピング」等を整備</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復旧情報の発信</li> </ul>     | <p>→ ・ 城内の視点場での解説板の整備<br/>         ・ 天守前広場での天守閣復旧工事の経過の展示<br/>         ・ パンフレット等による復旧状況の情報発信<br/>         ・ 復旧工事の報道公開（随時） など<br/> <b>→新たな情報発信手法も検討が必要</b></p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習・教育等への活用</li> </ul>  | <p>→ ・ 「復興 熊本城」の発行・頒布<br/>         ・ 復旧シンポジウムの開催、授業・講座の実施<br/> <b>→より幅広い年齢層を対象とした取組が必要</b></p>  |



馬具櫓解体保存工事



解説板（特別見学通路）

## (3) 都市公園としての機能の回復・向上

### ①安全で快適な来場者動線の確保等

| 計画記載内容  | 実施状況   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>来場者動線と工事動線の区画や人的配置による安全確保</li> <li>快適に移動できる環境の整備</li> <li>文化財としての景観に配慮したフェンスやバリケードの設置</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>二の丸広場見学通路の整備 (2017)</li> <li>二の丸御門の仮開通 (2018)</li> <li>西出丸の一部開放 (2019)</li> <li>奉行丸南側の開放 (2019)</li> <li>景観に配慮したフェンスへの変更 (2019)</li> <li>電動アシスト付車いすの導入 (2019)</li> <li>城内案内看板の更新 (2019～)</li> <li>天守前広場の暫定整備 (2020)</li> <li>シャトルバスの行幸坂～二の丸運行 (2020)</li> </ul> |



奉行丸南側を通過するシャトルバス

### ②便益施設等の復旧

| 計画記載内容  | 実施状況  |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>トイレや休憩所などの便益施設の復旧に取り組む</li> <li>仮設休憩所の拡充や代替となる便益施設の整備・拡充</li> <li>管理施設の復旧</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>二の丸西側トイレ・南側トイレの復旧 (2017)</li> <li>二の丸休憩所(南)の新築 (2017)</li> <li>三の丸広場南棟四阿の復旧 (2018)</li> <li>二の丸休憩所(北)、料金所、西出丸防災管理センター(北口券売所)、数寄屋丸多目的トイレ等の新築・改修 (2019)</li> <li>合同庁舎跡地駐車場の整備 (2019)</li> <li>本丸御殿休憩所の整備 (2020)</li> </ul> |



西出丸防災管理センター・北口券売所

### (3) 都市公園としての機能の回復・向上

#### ③都市公園機能の回復と観光資源としての再生

| 計画記載内容   | 実施状況   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的に都市公園機能の回復と向上を図る</li> <li>・特に行幸坂等の園路については早期の復旧と開放に向けた方針を検討</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋門前、北大手門跡、県立美術館南側、野鳥園の園路復旧（2016）</li> <li>・二の丸御門の仮開通（2018）</li> <li>・西大手門安全対策による西出丸の一部開放（2019）</li> <li>・奉行丸南側の開放（2019）</li> <li>・城彩苑南側緑地の整備（2019）</li> <li>・天守閣ライトアップ設備の改修（2020）</li> <li>・野鳥園沿い園路の改修（2020）</li> <li>・行幸坂歩道の安全対策及び拡幅（2021）</li> <li>・二の丸広場・園路の排水機能の向上（2021）</li> <li>・清爽園の記念碑復旧と崖面の安全対策（2021）</li> <li>・合同庁舎跡地駐車場の整備（2019）</li> <li>・県道四方寄熊本線歩道の拡幅（2019）</li> <li>・宮内橋の橋梁補修（2020）</li> <li>・城内花壇の植付け再開（2020～）</li> <li>・長堀ライトアップ設備の改修（2021）</li> <li>・高橋公園の園路改修（2021）</li> <li>・城内危険木等の撤去（2021～）</li> </ul> |

- ・特別史跡である熊本城内全域のバリアフリー化はハードルが高いことから、ハード面の整備とともに、ソフト面での対応が必要
- ・観覧ルートは、文化財の保護と被災状況の両面から安全性の確保と経年劣化への対応策の検討が重要
- ・建造物や石垣の復旧にあわせて設備の更新やライトアップの見直しの検討が必要
- ・駐車場や防災施設等の機能更新の検討も必要
- ・城内樹木の適正な保存管理が必要



拡幅した行幸坂歩道



長堀ライトアップ

→復旧とあわせて、都市公園・観光資源としての機能回復と維持管理が必要

### 特別公開第1弾 (大天守外観復旧)

大天守の外観復旧に併せて、工事のない日曜・祝日のみ、二の丸広場を起点に西出丸から工事用スロープを通り、平左衛門丸の一部や天守閣前広場の一部に至るルートを開通。天守閣をはじめ、重要文化財建造物の宇土櫓、崩落した石垣などを観覧いただいた。

- 公開ルート：西出丸～工事用スロープ  
～天守閣前広場
- 実施期間：2019（R1）年10月5日～  
2020（R2）年2月28日の日曜・祝日
- 入園者数：186,137人



### 特別公開第2弾 (特別見学通路公開)

新たに城内に整備した特別見学通路を使用し、地上から約6mの高さからの新しい視点での観覧が可能となった。

二様の石垣を含む天守閣の姿や飯田丸・竹の丸などの石垣の被災状況、東竹の丸の重要文化財櫓群などを観覧いただきながら、闇り通路を通り天守前広場まで至るルートを開示した。

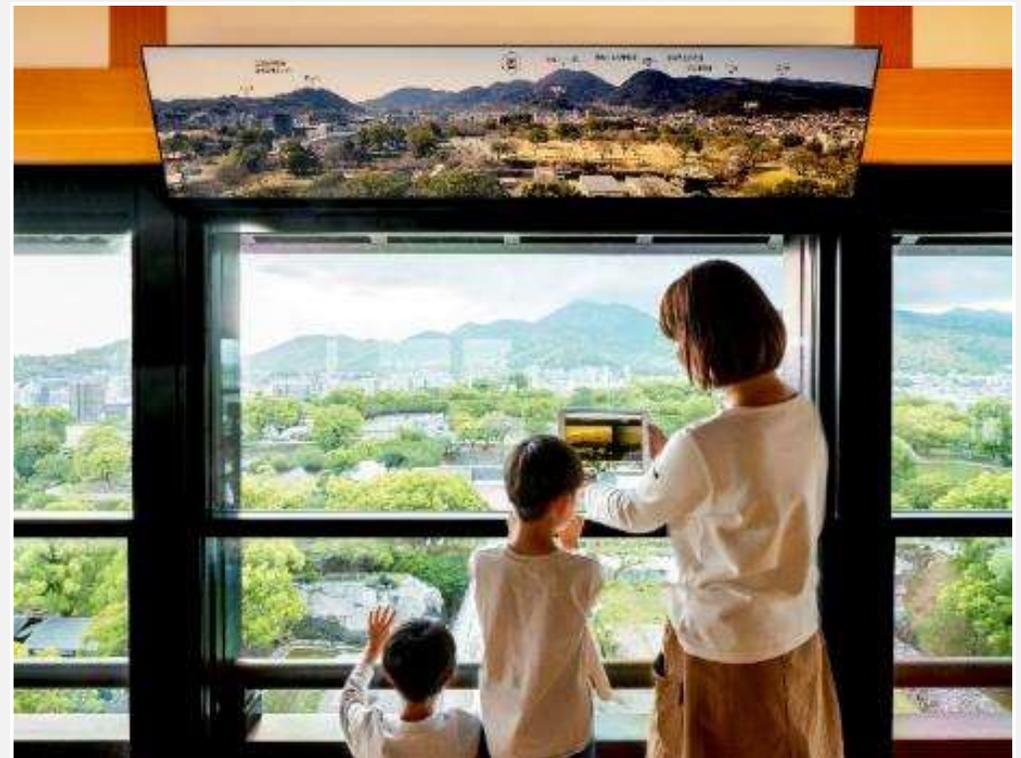
- 公開ルート： 特別見学通路～天守前広場  
※日曜・祝日のみ工事用スロープ～西出丸も開放
- 実施期間：2020（R2）年6月1日～  
2021（R3）年4月25日  
※2021年1月1日、1月15日～2月17日は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園
- 入園者数：310,011人(2020年度)  
22,948人(2021年度)



### 特別公開第3弾 (天守閣内部公開)

天守閣の復旧完了と展示内容のリニューアルに伴い、天守閣の内部公開を開始。天守に焦点を置き、階層ごとに各時代の展示を行うとともに、多言語解説やAR機能を搭載したスマートフォンアプリを導入した。また、天守閣内部には新たにエレベーターを設置するなど、様々なユニバーサルデザインを取り入れている。

- 公開ルート：特別見学通路～天守閣（内部公開）～西出丸
- 実施期間：2021（R3）年6月28日～現在  
※2021年8月2日～9月30日は新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休園
- 入園者数：424,903人(2021年度)  
※混雑状況に応じた入場制限や施設の消毒、入園者の連絡先の取得等の感染防止対策を実施しながら開園



## 4) 復旧過程の段階的公開と活用に関する検証及び課題の整理

### 復旧状況に関する主な報道公開

#### <2017 (H28) 年度>

- ・百間石垣石撤去開始 (6月)
- ・飯田丸五階櫓緊急工事 (6・7月)
- ・頬当御門石撤去開始 (9月)
- ・熊本城内 (本丸御殿・大天守内一部) 公開 (10月)
- ・熊本城内 (頬当御門・天守前広場大銀杏) 公開 (12月)
- ・熊本城内 (櫓方門・頬当スロープ他) 公開 (1月)

#### <2018 (H29) 年度>

- ・熊本城飯田丸五階櫓石垣復旧工事 (5月・7月)
- ・二の丸芝生広場通路開放 (7月)
- ・観覧区域拡大 (二の丸～西大手門など) (9月)
- ・飯田丸五階櫓石垣復旧工事・宇土櫓 (続櫓) 解体保存工事・天守閣復旧整備工事公開 (11月)
- ・平御櫓続塀解体工事 (12月)
- ・天守閣復旧整備工事・飯田丸五階櫓石垣復旧工事公開 (12月・1月)

#### <2019 (H30・R1) 年度>

- ・天守閣仮設屋根撤去 (4月)
- ・天守閣鯨吊りこみ・しゃちほこ設置セレモニー (4月)
- ・天守閣復旧整備工事・飯田丸五階櫓石垣復旧工事 (5月)
- ・飯田丸五階櫓石垣解体工事 (6月)
- ・飯田丸五階櫓の「一本石垣」の解体作業 (7月)
- ・天守閣復旧整備工事 (8月・10月)
- ・天守閣復旧整備工事・監物櫓解体保存工事・西大手門ほか解体保存工事・飯田丸五階櫓台石垣 (2月)

#### <2020 (R2) 年度>

- ・特別見学通路の完成 (4月)
- ・小天守4階足場解体 (8月)
- ・大天守内部展示前公開 (9月)
- ・飯田丸五階櫓石垣復旧工事 (9月)
- ・長塀外部足場解体 (11月)
- ・長塀の完成 (1月)
- ・熊本城特別公開時間延長・行幸坂一般開放 (3月)
- ・天守閣内部展示完了 (3月)

#### <2021 (R3) 年度>

- ・飯田丸五階櫓石垣復旧工事 (5月)
- ・行幸坂安全対策工事 (7月)
- ・天守閣ライトアップのリニューアル (8月)
- ・監物櫓台石垣及び平櫓台石垣の復旧工事 (9月)
- ・監物櫓復旧工事、戌亥櫓・馬具櫓解体保存工事 (10月)
- ・行幸坂歩道の共用開始 (10月)
- ・竹の丸五階櫓台・棒庵坂周辺石垣の石材回収工事 (11月)
- ・監物櫓での部材の繕い(つくろい) (2月)

➡引き続き丁寧な情報発信が必要



飯田丸五階櫓緊急工事 (2017)



監物櫓での部材の繕い (2021)

### 5年間の公開・活用を通じて見えてきた課題

#### 復旧状況の「見える化」

##### ○今後の復旧状況をどのように「見える化」するか

今後、長期にわたって公開エリアが広がらない中で、復旧状況を見せるための手法の検討が必要

#### 復旧情報の発信

##### ○新たな情報発信手法の検討

報道公開の機会のさらなる創出とともに、復旧状況を効果的に発信する新たな手法の検討が必要

#### 学習・教育等への活用

##### ○教育機関との連携による取組の検討

小中学校や高校といった教育機関と連携するなど、復旧過程に触れる取組みによって、より幅広い世代に対して熊本城への理解を促進する取組の検討が必要

#### 都市公園・観光資源としての機能回復

##### ○都市公園・観光資源としての機能回復や適正な維持管理に向けた検討

復旧とあわせて都市公園・観光資源として、市民の憩いの場として、また重要な観光資源としてどのように機能を回復させ適正に維持していくか検討が必要